

KBA 2025年度のアンケート調査結果

2026年1月18日

神奈川県ビリヤード協会 事務局

本アンケートは、KBA 加盟店舗および正会員を対象に、2025年度における協会事業および理事会活動に対する意見・満足度を把握することを目的として実施しました。回答は匿名とし、加盟店会員の率直な意見を今後の協会運営および2026年度の事業計画に反映させるための基礎資料としています。

— 目次 —

1 ページ	表紙
2～4 ページ	KBA 2025年度のアンケート調査 (Google フォーム)
5～6 ページ	総評
7 ページ	設問1 理事会の活動について、どのように感じていますか？ (理事会の活動に対する評価)
8～9 ページ	設問2 理事会に対する具体的な要望があれば教えてください。
10～11 ページ	設問3 2025年に実施された以下のイベントについて、満足度を教えてください。
12 ページ	設問4 2025年に実施されたイベントについて、その他ご意見があれば教えてください。
13 ページ	設問5 2026年度に追加してほしいイベントや取り組みはありますか？
14 ページ	設問6 理事会との意見交換の場があれば参加したいと思いますか？
15～16 ページ	設問7 意見交換を行う場合、どのような形式が良いですか？
17 ページ	設問8 意見交換を行う場合の形式について、その他ご意見があれば教えてください。
18 ページ	設問9 加盟店のサポートについて、協会の加盟店となって満足していますか？
19 ページ	設問10 加盟店のサポートについて、改善してほしい点があれば教えてください。
20 ページ	設問11 その他、協会やイベントに関するご意見・ご提案があれば教えてください。

KBA 2025年度のアンケート調査（Google フォーム）

アンケートのお願い

KBA 加盟店舗および正会員の皆様

今回も、年間事業に関するアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

本アンケートは匿名ですので、忌憚のない意見をお知らせください。（2026年1月8日～20日）

アンケートに関するお願い

1. 感じたことや思っていることを自由にお書きください。
2. 時間は5～10分程度で完了します。

アンケートの目的

1. 加盟店会員の要望や意見を明確に把握する。
2. 理事会の活動に対する満足度や改善点を把握する。
3. 2026年度のスケジュール・イベント計画に反映するアイデアを得る。

理事会と加盟店会員のコミュニケーションを強化できれば幸いです。

設問 1 (必須)

理事会の活動について、どのように感じていますか？

※1つだけマークしてください。

- 満足
- 普通
- 不満

設問 2 (自由記述)

理事会に対する具体的な要望があれば教えてください。

設問 3 (必須)

2025年に実施された以下のイベントについて、満足度を教えてください。

※1行につき1つだけマークしてください。

イベント名	満足	普通	不満
わかばカップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
県知事杯	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
KBA 杯	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
エキサイト 3C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レクリエーション大会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
藤沢総合高校 授業支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他の交流やイベント	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

設問 4 (自由記述)

2025年に実施されたイベントについて、その他ご意見があれば教えてください。

設問 5 (自由記述)

2026年度に追加してほしいイベントや取り組みはありますか？

設問 6 (必須)

理事会との意見交換の場があれば参加したいと思いますか？

※1つだけマークしてください。 はい いいえ

設問 7

意見交換を行う場合、どのような形式が良いですか？

(当てはまるものをすべて選択してください) Zoomなどのオンライン会議 メールやメーリングリスト LINE 対面会議

設問 8 (自由記述)

意見交換を行う場合の形式について、その他ご意見があれば教えてください。

設問 9

加盟店のサポートについて、協会の加盟店となって満足していますか？

※1つだけマークしてください。 はい いいえ

設問 10 (自由記述)

加盟店のサポートについて、改善してほしい点があれば教えてください。

設問 11 (自由記述)

その他、協会やイベントに関するご意見・ご提案があれば教えてください。

ありがとうございました。

総括

回答概要 回答数：10件 対象：加盟店・正会員 形式：匿名アンケート

1. 理事会活動全体の評価

- 満足：50%／普通：40%／不満：10%
- 理事会活動が否定されている状況ではない。
- 一方で「普通」が4割を占めており、積極的に支持されている状態とは言い切れない。

◆判断視点：活動内容そのものより、成果や意図が十分に共有されていない可能性がある。

2. イベント事業の評価

- 全イベントで「満足＋普通」が大半。
- 極端に評価の低い事業はなし。
- 特に藤沢総合高校 授業支援は最も評価が高く、協会事業として分かりやすく評価されやすい。
- 一方、交流系・競技系イベントでは「普通」が多く、事業の目的や位置づけが曖昧に受け取られている可能性。

◆判断視点：事業数の問題ではなく、「誰向け・何のための事業か」を説明できているかが課題。

3. コミュニケーション・情報共有

- 意見交換の場への参加意欲：70%。
- 形式の希望は分散（LINE・Zoom・メール・対面）。
- 一方で、既存のメール・電話連絡で十分という意見も存在。
- 理事会後は議案・資料・議事録をHPに掲載しているが、それを前提とした評価かどうかは不明。

◆判断視点：問題は情報公開の有無ではなく、情報が認知・理解されているかという点。

4. 加盟店サポート

- 満足：70%／不満：30%。
- 「加盟メリットが分かりにくい」という意見が明確に存在。
- 金銭的・差別的特典を求める声は見られない。

◆判断視点：サポート不足というより、加盟している意味・価値の言語化不足が課題。

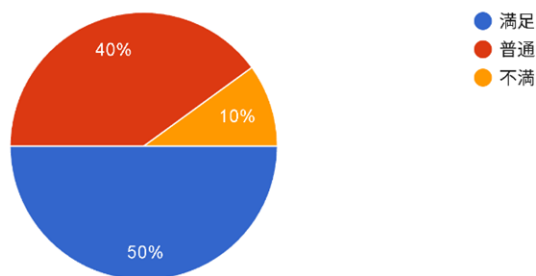
5. 総合判断（理事会向け）

- 現行の方向性は大きく誤っていない。
- ただし全体を通じて、「やっていること」と「伝わっていること」に差がある。
- 新規施策の追加よりも、既存活動の整理・説明・見せ方の改善を次年度の優先課題とすべき段階。

設問 1

※必須※ 理事会の活動について、どのように感じていますか？

10 件の回答



回答数：10 件

- 満足：50% (5 件)
- 普通：40% (4 件)
- 不満：10% (1 件)

【集計結果の整理】

回答者の半数が「満足」と回答しており、理事会の活動については一定の評価を得ていることが分かります。

一方で、「普通」が40%と比較的多く、強い不満ではないが、積極的な評価にも至っていない層が一定数存在しています。

また、「不満」と回答した割合は10% (1 件) と少数ではあるものの、匿名アンケートという性質を踏まえると、無視できないシグナルと考えられます。

【分析・考察】

- 「満足」が過半数を占めている点から、理事会の基本的な活動方針や姿勢そのものが否定されている状況ではありません。
- 一方で、「普通」が4割を占めていることから、情報共有の不足や成果が見えにくい活動について、十分に伝わっていない可能性が示唆されます。
- 「不満」と回答した意見については、後続の自由記述 (設問 2・11) と照らし合わせることで、具体的な改善点や不満の背景を把握する必要があります。

【今後の分析に向けた視点】

- 自由記述の内容を分類し、「普通」「不満」と回答した層が何に引っかかっているのかを明確化する。
- イベント満足度 (設問 3) との関係性を確認し、個別事業評価と理事会全体評価のズレがあるかを検証する。

設問2 理事会に対する具体的な要望があれば教えてください。(自由記述) 2 件の回答

- 事前の情報、資料の共有を行って欲しいです。 イベント当日にあれがない、これはどうなっていると混乱しないように事前に情報資料などを共有し、万全に運営を取り組んだ方が良いと思います。
- 加盟金や収益を得て、それをどのように使っているか、また、その結果としてどのような現金の余剰または不足が生じているか細かく HP に記載してください。

【分析・考察】

本設問に寄せられた要望は件数こそ多くありませんが、理事会運営の根幹に関わる重要な指摘が含まれています。

- 1点目の「事前の情報・資料共有」については、現場対応の負担軽減と運営品質の向上を求める声であり、理事会内部だけでなく、加盟店・関係者全体の安心感に直結する内容です。
- 2点目の「会計の透明性」については、協会活動に対する信頼性や納得感を高めるための要望と読み取れます。金額の大小に関わらず、「どのような意図で、どのように使われているか」を可視化することが、今後の協会運営において重要であることが示唆されています。

【今後に向けた整理ポイント】

- 事前共有資料（進行表・役割分担・準備物リスト等）の標準化・テンプレート化の検討。
- 決算書とは別に、加盟店向けの分かりやすい会計サマリーを HP に掲載するなど、情報開示の方法を工夫する余地がある。

【補足分析】会計情報の公開に関する要望について

自由記述の中で挙げられた「加盟金や収益の使途、現金の余剰・不足を細かく HP に記載してほしい」という意見については、慎重な読み取りが必要である。神奈川県ビリヤード協会では、年1回の総会を開催し、決算書および予算書を加盟店および正会員全員に配布しており、協会としては必要な会計情報の開示は既に行っている状況である。一方で、今回の回答からは、

- 総会資料として配布されていること自体が十分に認識されていない可能性
- 認識はしているものの、「総会資料とは別に、日常的に確認できる形で HP にも掲載してほしい」という要望である可能性のいずれであるかは判別できない。

【今後の整理の方向性（提案）】

- 総会資料として配布している事実を、改めて加盟店・正会員に明確に伝える。
- 決算書そのものを掲載するか否かとは別に、「事業別の支出概要」「協会としての資金の考え方」を簡潔にまとめたサマリー形式の情報を検討する。
- 「すでにやっていること」と「さらに求められていること」を切り分けて整理することで、不要な誤解や過度な負担を避ける。

【考察】

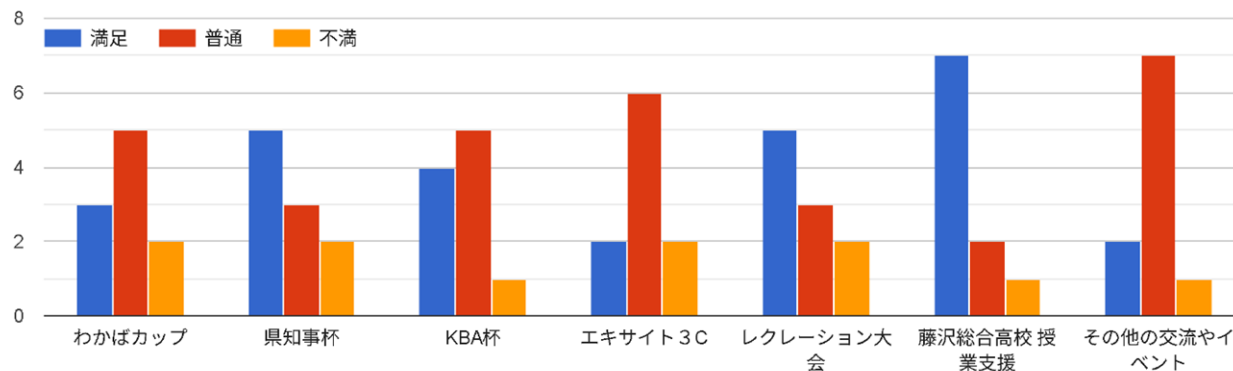
この点は、「会計処理が不透明である」という直接的な指摘というよりも、「情報にアクセスしづらい」「過去の資料を後から確認しにくい」「数値の意味や用途が分かりにくい」といった、伝え方・見せ方の課題を示唆している可能性が高い。つまり、開示の有無ではなく、理解のしやすさや到達性に対する要望として受け止める余地がある。

【今後の整理の方向性（提案）】

- 総会資料として配布している事実を、改めて加盟店・正会員に明確に伝える。
決算書そのものを掲載するか否かとは別に、「事業別の支出概要」「協会としての資金の考え方」を簡潔にまとめたサマリー形式の情報を検討する。
- 「すでにやっていること」と「さらに求められていること」を切り分けて整理することで、不要な誤解や過度な負担を避ける。

設問3

※必須※ 2025年に実施された以下のイベントについて、満足度を教えてください。



【全体傾向の整理】

- 全体として「満足」「普通」が大半を占め、極端に評価が低いイベントは見られない。
- 多くのイベントで「普通」が一定数存在しており、否定ではないが、強い満足にも至っていない層が共通している。

【イベント別の特徴と考察】

■ 藤沢総合高校 授業支援

- 「満足」が最も多く、全体の中で最も評価が高い事業。
- 普及活動・社会的意義が分かりやすく、協会の取り組みとして評価されやすい内容であると考えられる。

■ 県知事杯/KBA杯

- 「満足」と「普通」がバランスよく分布。
- 大会運営としては一定の評価を得ている一方で、参加条件・運営方法・規模感などについて改善余地を感じている層も存在している可能性がある。

■ わかばカップ

- 「普通」が最も多く、評価がやや分散。
- 趣旨への理解はあるものの、内容や形式については賛否が分かれていることが示唆される。

■ エキサイト 3C

- 「普通」が過半数を占め、「満足」は少なめ。
- 特定競技向けイベントであるため、関心層が限定され、評価が中庸に集まりやすい傾向が見られる。

■ レクリエーション大会

- 「満足」が比較的多く、一定の支持を得ている。
- 参加しやすさや雰囲気は評価されている一方、内容面での工夫を求める声が今後出てくる可能性がある。

■ その他の交流・イベント

- 「普通」が多数を占める。
- イベント内容や目的が十分に認識されていない、もしくは印象に残りにくい可能性がある。

【分析のまとめ】

- 「不満」が突出して多いイベントはなく、協会の年間事業全体としては大きな否定はされていない。
- 一方で、多くの事業で「普通」が多いことから、目的・成果・意義の伝え方に改善の余地があると考えられる。
- 特に評価の高かった事業（藤沢総合高校 授業支援）については、協会の強みとして今後の活動や説明に活用できる。

設問4 2025年に実施されたイベントについて

その他（自由記述）

2件の回答

- 高校授業やレクリエーションはまだビリヤードを知らない方々へビリヤードの楽しさを広めるという企画で良かったと思います。
- いずれもほぼ予定通りに進行頂き、誠に有難う御座いました。

【回答内容（要旨）】

1. 普及事業に対する評価

- 高校授業やレクリエーション大会について、これまでビリヤードに触れたことのない層に向けて楽しさを伝える企画として良かった、との評価。

2. 運営進行に対する評価

- いずれのイベントも、ほぼ予定通りに進行しており、運営面において安定していたことへの感謝の意見。

【分析・考察】

本設問では、否定的な意見は見られず、いずれも協会の取り組みを肯定的に評価する内容となっています。

- 特に、「まだビリヤードを知らない方々への普及」という点が明確に言及されており、設問3で評価の高かった「藤沢総合高校 授業支援」や「レクリエーション大会」と一貫した評価傾向が確認できます。
- また、「予定通りに進行した」というコメントからは、運営体制や事前準備が一定水準に達していることが読み取れます。

【位置づけの整理】

これらの意見は、「イベントそのものの価値」「協会の運営能力」の両面に対する裏付けとなる評価であり、理事会活動全体の説明や振り返りににおいて積極的に活用できる内容です。

設問5 2026年度に追加してほしいイベントや取り組みはありますか？（自由記述）2件の回答

- なかなか難しいですが、上級者から初級者まで楽しめる何かがあればと思います。昔やっていたハウストーナメント結果のポイントランキングとか良かったと思います。なかなか集計や結果の情報収集が面倒になるかもなのでそこが課題ですかね。
- 追加は特に御座いません。

【回答内容（要旨）】

1. 幅広いレベルが楽しめる企画への要望

- 上級者から初級者まで、幅広い層と一緒に楽しめる企画があれば良い、という意見。
- 過去に実施していたハウストーナメントのポイントランキング制度を評価する声。
- 一方で、集計や結果管理の手間が増える点が課題として挙げられている。

2. 追加要望なし

- 現時点では、特に新たに追加してほしい取り組みはない、という意見。

【分析・考察】

本設問では、大きな不満や強い要望は見られず、現行事業に対して一定の納得感があることがうかがえます。

- 「上級者から初級者まで楽しめる企画」という要望は、競技レベルの分断を感じているというよりも、交流・継続参加の導線を求める意見として読み取れます。
- ハウストーナメントのポイント制については、継続的な参加動機づけとして評価されている一方、回答者自身が「運営負荷」を理解したうえでの提案となっており、現実的な視点が含まれています。

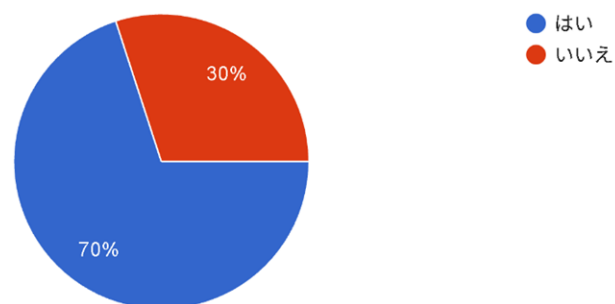
【今後に向けた示唆】

- 新規事業を無理に増やすのではなく、既存イベントの中で参加レベルの幅をどう持たせるかという工夫が求められている。
- ポイント制などの継続企画については、デジタル化・簡略化を前提とした形であれば、将来的な検討余地がある。

設問 6

※必須※ コミュニケーションについて 理事会との意見交換の場があれば参加したいと思いますか？

10 件の回答



【集計結果の整理】

回答者の 7 割が「参加したい」と回答しており、理事会との意見交換の場に対して、一定以上のニーズが存在していることが明確になりました。一方で、3 割は「参加しない」と回答しており、すべての加盟店・正会員が対話の場を求めているわけではない点にも留意が必要です。

【分析・考察】

- 「参加したい」が多数を占めていることから、理事会の活動や方針について直接話を聞きたい・意見を伝えたい層が一定数存在していると考えられます。
- 一方で「参加しない」と回答した層については、「忙しく時間が取れない」「特に意見がない」「現状に大きな不満がない」など、否定的とは限らない理由も想定されます。

【位置づけの整理】

この結果からは、「全員参加を前提とした場を設けるのではなく」、「希望者が無理なく参加できる仕組み」を用意するというスタンスが適切であることが読み取れます。

設問7 コミュニケーションについて

理事会との意見交換の場があれば参加したいと思いますか？ その他（自由記述）2件の回答

- 参加したいとは思いますが平日に開催だとなかなか難しいです。
- 既存の方法のメールとお電話でのご連絡で十分機能していると感じております。

【回答内容（要旨）】

1. 開催日時に関する制約

意見交換の場への参加意欲はあるが、平日開催の場合は参加が難しい、という現実的な意見。

2. 既存コミュニケーション手段への評価

現在行っているメールや電話による連絡方法で、十分に機能していると感じている、という意見。

【分析・考察】

この自由記述は、設問6の定量結果を補完する内容となっています。

- 「参加したいが平日は難しい」という意見からは、参加意欲そのものは否定されていないことが分かります。
- 一方で、「既存の方法で十分機能している」という意見は、新たな仕組みを必ずしも全員が求めているわけではないことを示しています。

【位置づけの整理】

これらの意見を踏まえると、

- 意見交換の場は「必須」「全員参加」ではなく、選択制・補完的な位置づけとするのが妥当。
- 開催する場合は、「平日昼間に限定しない」「オンライン併用やアーカイブ共有」など、参加ハードルを下げる工夫が求められる。

この結果は、今後の理事会と加盟店とのコミュニケーション方針を検討する際の重要な判断材料になります。

【補足考察】理事会後の情報公開とコミュニケーションに関する認識差について

自由記述では、「既存の方法（メール・電話）で十分機能している」との意見や、意見交換の場の開催条件に関する指摘が見られた。一方で、神奈川県ピリヤード協会では、理事会開催後に必ずホームページ上で議案・配布資料・議事録を公開しており、協会としては、継続的な情報共有を行っている。

ただし、今回のアンケート結果からは、「これらのホームページ掲載情報を定期的に確認したうえでの意見なのか、もしくは掲載されていること自体が十分に認識されていない状態での意見なのかを判別することはできない。

【分析の視点】

この点は、「情報が出ていない」という評価ではなく、「情報がどこにあるか分かりにくい」「更新情報に気づきにくい」「見に行く動機付けが弱い」といった、情報到達性・認知の課題として捉える必要がある。

実際に、設問 6 では意見交換の場への参加意欲が一定数見られる一方で、既存手段で十分と感じている層も存在しており、情報取得のスタイルに個人差があることがうかがえる。

【今後の整理に向けた示唆】

- 理事会後の HP 更新について、「掲載している」こと自体を定期的に周知・リマインドする工夫の検討。
- 議事録全文とは別に、要点をまとめた簡易サマリーを用意するなど、情報の受け取りやすさを高める余地がある。
- 意見交換の場は、情報共有の代替ではなく、補完的な役割として位置づけることが適切。

この整理を入れておくことで、「やっていない」と受け取られがちな点を「やっているが、届き方に差がある」という構図に置き換えられます。

設問 8

意見交換を行う場合、どのような形式が良いですか？

9件の回答



【集計結果】 ※複数選択のため、合計は100%を超えます。

- LINE：5件（55.6%）
- Zoomなどのオンライン会議：4件（44.4%）
- メール／メーリングリスト：4件（44.4%）
- 対面会議：4件（44.4%）

【分析・考察】

- LINEが最も多く選択されており、手軽さ・即時性を重視する傾向が見られます。
- 一方で、オンライン会議・メール・対面会議はいずれも同程度の支持を得ており、特定の形式に大きく偏っているわけではありません。

【読み取れる傾向】

- この結果からは、「加盟店・正会員の間でコミュニケーション手段の好み分散していること」「これ一択」という形ではなく、複数の選択肢が用意されていること自体が重要であることが読み取れます。

【前段の結果との関係性】

- 設問6では「参加したい」が7割であった一方、設問7では形式の希望が分散しています。これは、参加意欲はあるが、参加条件や方法に柔軟性を求めているという構図と整合的です。

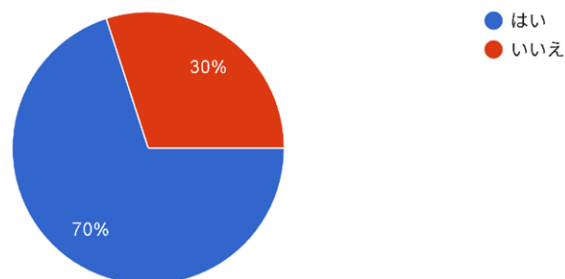
【今後に向けた示唆】

- 単一形式に絞るのではなく、「日常的な情報共有：LINE／メール」「意見集約・説明：Zoom」「必要に応じて対面」といった役割分担型の運用が現実的。
- 既存のメール・電話が機能しているという意見も踏まえ、新しい仕組みは「追加」であり「置き換え」ではないという位置づけが望ましい。

設問9

加盟店のサポートについて協会の加盟店となって満足していますか？

10件の回答



【集計結果の整理】

加盟店サポートについては、7割が「満足している」と回答しており、協会の加盟店支援については、一定の評価を得ている結果となりました。

一方で、3割が「満足していない」と回答しており、理事会活動やイベント評価と同様に、少数ながらも改善を求める層が存在していることが分かります。

【分析・考察】

- 「満足している」が多数を占めている点から、協会に加盟していること自体の意義や、基本的なサポート内容は否定されていないと考えられます。
- 一方で、「満足していない」と回答した層については、「サポート内容が見えにくい」「自店舗にとっての具体的なメリットを感じにくい」といった理由が背景にある可能性があり、内容そのものよりも、伝わり方の問題である可能性も考えられます。

【前段設問との関連】

- 設問2（要望）や、情報共有に関する指摘と合わせて考えると、「やっていること」と「伝わっていること」の差が一部で生じている構図がここでも見られます。
- また、設問6・7の結果からは、加盟店側の情報取得スタイルが多様であることが確認されており、単一の方法では十分に届いていない可能性があります。

【今後に向けた示唆】

- 加盟店サポートの内容について、「何をしているか」だけでなく「加盟店にとって何がどう役立っているのか」を具体的に示す工夫が必要。
- 不満層の声については、次の設問（改善点の自由記述）とあわせて分析することで、実態をより明確にできる。

設問10 加盟店のサポートについて改善してほしい点（自由記述）

3件の回答

- 加盟店だと店内に貼れるそれなりの大きさのステッカーがほしいです
- 何かメリットになっているのか不明。もっと加盟店になりたいと思うような魅力的な何かがあればと思います。差別的な特典ではなく。
- 特に御座いません。

【回答内容（要旨）】

1. 加盟店であることを示す可視化の要望

店内に掲示できる、一定の大きさがある加盟店ステッカーがほしい、という意見。

2. 加盟メリットの不明瞭さへの指摘

協会の加盟店であることが、具体的にどのようなメリットにつながっているのか分かりにくい。

差別的な特典ではなく、加盟店になりたいと思えるような魅力的な価値の提示を求める意見。

3. 特に改善点なし

現状に大きな不満はない、という意見。

【分析・考察】

本設問の回答は、「サポートが不足している」という指摘というよりも、「価値が見えにくい」という課題を示しています。

- ステッカーの要望は、協会とのつながりや信頼性を来店客に分かりやすく示したいという意図と読み取れます。
- 「メリットが不明」という意見は、支援内容そのものよりも加盟によって得られる意味や立場が十分に伝わっていないことへの問題提起と考えられます。
- 一方で、「特にない」という回答もあり、すべての加盟店が不満を感じているわけではありません。

【前段設問との関連】

- 設問9で「満足わずか7割」という結果と整合的であり、強い不満ではないが、改善余地を感じている層が存在していることが確認できます。
- 情報共有や可視化を求める声は、これまでの設問（2・6・7）とも共通しており、「見える形で伝える」ことが一貫した課題として浮かび上がっています。

【今後に向けた示唆】

- 加盟店向けのステッカーや掲示物など、加盟店であることを示すツールの整備。
- 「特典」ではなく、「協会の活動への参画」「地域・学校・大会とのつながり」といった価値の言語化・見える化。
- 加盟店向けに、協会が提供している支援内容を一覧化・整理して伝える工夫。

設問11 その他、協会やイベントに関するご意見・ご提案があれば教えてください。(自由記述) 3件の回答

- ビリヤード告知イベント(例えばイベント会場でのアピール活動)
- みなさんお忙しいところ活動していらっしゃると思いますので、とても大変だと思います。みんなで情報共有し、少しずつ出来ることをみんなで実施していけばいいのではないかなと思います。
- 特に御座いません。

【回答内容(要旨)】

1. 対外的な告知・PR活動への提案

イベント会場などでのビリヤード告知・アピール活動を行ってはどうか、という提案。

2. 理事会・関係者への理解と共感

忙しい中で活動していることへの理解と労い、情報共有を行いながら、無理のない範囲で少しずつ取り組んでいけばよいという建設的な意見。

3. 特に意見なし

現状に対して大きな不満や要望はない、という意見。

【分析・考察】

本設問では、強い批判や否定的な意見は見られず、全体として協会活動に対する理解的・協力的な姿勢がうかがえます。

- 告知イベントの提案は、設問4・5で評価の高かった普及・交流型の取り組みと方向性が一致しており、協会活動の延長線上として検討可能な内容です。
- また、「みんなで少しずつ」という表現からは、協会任せではなく、加盟店・会員も関わりたいという意識が読み取れます。